



ふだんのくらしのしあわせ

2019年もがんばります!!

編集・発行 美郷町社会福祉協議会

- 本所 宮崎県東臼杵郡美郷町西郷田代29番地1 健康管理センター内
TEL (0982) 68-2900・FAX (0982) 68-2008 E-mail: mstskyhn@mb.wainet.ne.jp
- 南郷事業所 TEL (0982) 59-0787 □地域包括支援センター TEL (0982) 66-2477
- 西郷事業所 TEL (0982) 66-2464 □安心生活支援センター TEL (0982) 66-2640
- 北郷事業所 TEL (0982) 62-6191
- ※ホームページ URL <http://misato-shakyo.or.jp/>

資金の貸付について

まずは相談を!!



美郷町社協では以下の資金の貸付及び相談を行っています。

生活福祉資金

宮崎県社協が行っている、低所得者の方に対し無利息若しくは低利息で資金の貸付を行う事業です。美郷町社協はその貸付相談の窓口業務を行っています。

●貸付対象…高校、専門学校、大学等への修学費用や、身体障がい者の方に関する自動車購入費等です。

※本資金の貸付については他の制度が優先であり、申込から貸付までに時間がかかる場合がありますので、早めの申し込みをお願いします。

たすけあい資金

美郷町社協が行っている、生活のための小口の資金の貸付事業です。

●貸付対象…生活に関わる資金として広く使うことができる資金です。

※貸付金の限度額は、1回5万円まで、貸付期間は6ヶ月となっています。最短で申込当日の貸付も可能です。

資金の種類や貸付要件等の詳細については、各事業所までお問い合わせください。

平成30年7月豪雨に対する義援金の報告とお礼

平成30年12月28日まで、赤十字奉仕団により町内各商店及び関係機関に募金箱を設置し、町民の皆様よりたくさんの義援金が集まりました。

お預かりいたしました全ての義援金は、日本赤十字社宮崎県支部を通して、被災地の復興支援に活用させていただきます。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

【義援金総額】 116,641円

善意の灯

期間:平成30年11月1日～平成30年12月31日まで

香典返し

【南郷】

寄付者氏名	故人
黒木 ツゲ子様	守様
中田 正一様	榮様
堀内 タミエ様	奈須ツヤ子様
小竹 照光様	キヌエ様
田中 正之様	瓶田タネ様
瀧下 正吉様	フユ子様
黒竹 武子様	田口國子様
黒木 源市様	齋藤 栄様

【北郷】

寄付者氏名	故人
阿部 ヤエ子様	誠様
奈須 博幸様	ノブ子様
清田 啓介様	實様
日吉 一様	富子様
吉田 峯一様	誠様
柳田 祐一様	ミドリ様

【西郷】

寄付者氏名	故人
甲斐 博文様	アキエ様
菊池 輝義様	ナツエ様

物品寄贈

西郷 新本 祐希様
チャイルドシート

一般寄付

北郷 北郷チャリティゴルフ大会
会長 鎌倉 初文様



平和の尊さを、次世代につないでいくために ～平成最後の戦没者追悼式を終えて～

美郷町南郷遺族会 会長 田村 義久 さん(南郷鬼神野地区)

平成27年度から美郷町南郷戦没者遺族会の会長を務められている田村義久さんは、建設業を営む傍ら遺族会活動に関しても日々熱心に奔走されています。平成最後の追悼式を終え、今後の遺族会に対する想いを語っていただきました。(以下、田村さんのお話)

『戦後73年という月日が流れ、戦争体験者の生の声を聞くことも年々難しくなり、戦争で亡くなった肉親の記憶も薄れ消えようとしています。

宮崎県遺族連合会では、戦没者の妻や遺児の高齢化が進んでいることから、英霊顕彰の継承や平和の尊さを次世代に伝えていくことを目的として、今年の2月に戦没者の孫、曾孫、甥、姪を対象とした遺族会青年部が設立されました。対象となる方は、入会についてご検討いただければ幸いです。

また、後継者である子供さん、お孫さんに時間が許せば、美郷町各地区で毎年開催されている戦没者追悼式に出席していただきたいという願いもあります。次世代を担う若者が二度と同じ過ちを犯さないためにも、追悼式に出席していただき、戦争で犠牲になった自分の祖先と若くして共に亡くなった御霊の冥福を祈り、感謝し、同時に今の平和を次の世代につなぐ誓いの場にいただければ幸いです。』



戦没者追悼式にて
あいさつをする
田村義久さん

平成30年度の戦没者追悼式の様子



南郷



北郷



西郷

民生委員児童委員の皆様と安心生活支援センター

お互いに支えあえる「パートナー」として活動を・・・!

安心生活支援センターでは、町内の民生委員児童委員の皆様と協働で、地域の気になる方の早期発見や、一人暮らし高齢者や高齢者世帯、その他虚弱な方の緊急連絡先の整備事業を行っています。事業を進めるにあたっては、地域に密着して活動する民生委員児童委員の皆様のご協力が欠かせません。

民生委員児童委員の皆様が、地域に密着し住民と行政をつなぐ重要な役割を担っている点では、当センターも各地区に安心訪問員を配置し、同じ立場で活動していますので、お互いに情報交換を行ったり、連携を取りながら地域の皆様に安心をお届けしたいと考えています。

今後益々少子高齢化が進み、認知症や多様な悩みを抱えた方々が増加して行くと懸念される中、地域住民の「身近な相談相手」として、民生委員児童委員の皆様とお互いに支えあえる「パートナー」の関係をもちながら、「百でも安心して暮らせる町づくり」を進めていきます。



あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年中は、美郷町社会福祉協議会の諸活動にご支援とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、社協の役割や課題は時代とともに変化してまいりましたが、住み慣れた所で暮らし続けたいという思いは、これからも変わることのない多くの町民の願いであると思います。これまでの福祉は、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉など対象者ごとに分かれていたサービス提供や一部の困っている人に対する支援が一般的でありましたが、福祉サービスの支援を必要とする人は、特定の人だけではなく、地域の誰もが日頃の生活の中で何らかの問題を抱え手助けを必要とする場合があります。社協は地域福祉活動を推進する組織として、町民の皆様との協議・協働を基に地域福祉の課題解決のために皆様とともに取り組み、信頼される社協であり続けたいと願っています。

美郷町では、住民生活や価値観の多様化などを背景に核家族化が進行し、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦、高齢者親子世帯が増加していく傾向にあると考えられます。このような状況の中、公的な制度に基づくサービス・支援だけでなく、お互いに支えあう地域づくりが肝要です。

本年も明るい地域社会を築くため、昨年に倍してご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。



美郷町社会福祉協議会
会長 田中 秀俊

～認知症を自分のこととして考える町をめざして～

「新たな認知症サポーターが誕生!!」



12月13日に西郷中学校の生徒・先生方を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。



認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」のことです。

☆皆さんのアンケートから

- ・認知症はしかたがないと思っていたけど、周りの人の対応で症状がよくなることを知りました。
- ・認知症になった本人が一番不安なんだということが分かりました。
- ・自分が認知症になったらと想像すると不安です。だからこそ、認知症の方をサポートしていきたいです。

「美郷町認知症講演会を開催しました」

11月22日、国富町けいめい記念病院副院長・脳神経外科(物忘れ外来)の岡原一徳先生をお招きし、「認知症高齢者の支援のあり方」～薬物療法から非薬物療法の両面～との演題で講演会を開催しました。

「認知症の本当のところをしっかりと理解することが、予防であれ、介護であれ、医療であれ大切なことだと感じています」と、先生のお話がありました。



家族介護者・一般住民・施設関係職員など多くの方が参加しました。

◆まずは、認知症を正しく理解することからのスタート

※少人数でも認知症サポーター養成講座を開催します。希望される方は地域包括支援センターへご連絡ください。☎0982-66-2477